

(セミナー名称) 2019年度第6回山形県がん化学療法セミナー		
担当者氏名：富岡佳久		所属：大学院薬学研究科 がん化学療法薬学分野
内線： (795)6851	e-mail：	
1. 計画の名称		
2019年度第6回山形県がん化学療法セミナー		
2. 関連分野		
がん化学療法		
3. 実施報告		
<p>2020年2月2日ヤマコーホールにて、2019年度第6回山形県がん化学療法セミナーを開催した。一般演題では、公立置賜総合病院 薬剤部 安部一弥先生より「当院のB型肝炎再活性化対策」と公立置賜総合病院 看護部 化学療法センター 竹田美和子先生より「オキサリプラチンによる血管痛対策～刺入部の皮膚表面温度の変化～」と題してご講演頂いた。特別講演では、山形県立中央病院 外科 須藤剛先生より「大腸癌の外科的治療と抗癌剤の副作用対策」と題してご講演頂いた。</p>		
4. 実施年月日・実施担当者・参加人数		
<p>2020年2月2日(日) 東北大学 大学院薬学研究科 がん化学療法薬学分野 教授 富岡佳久 72名が参加</p>		
5. 所要経費		
支出簿参照		
6. 成果		
<p>公立置賜総合病院 薬剤部 主任 安部一弥先生より「当院のB型肝炎再活性化対策」と題して、他職種と連携した体制の構築や HBV-DNA モニタリング期間の明確化によって、検査率実施の向上に貢献している取り組みについてご講演頂いた。公立置賜総合病院 看護部 化学療法センター 竹田美和子先生より「オキサリプラチンによる血管痛対策～刺入部の皮膚表面温度の変化～」と題して、オキサリプラチンを末梢静脈から投与している患者を対象とした、刺入部の皮膚表面温度と血管痛との関連について検討した内容についてご講演頂いた。</p> <p>山形県立中央病院 外科 教育研修部副部長 須藤剛先生より「大腸癌の外科的治療と抗癌剤の副作用対策」と題して、大腸がんの疫学、症状、リスク因子、検査や治療について網羅的にご講演頂いた。治療では「手術」と「化学療法」の2つに分けてお話し、手術では実際の手術時の写真や動画を用いてご解説頂き、術後の生活指導のポイントについてもご説明頂いた。また、化学療法では主に副作用についてご解説頂き、手足症候群、末梢神経障害、皮膚障害や蛋白尿などの副作用に対する支持療法やモニタリングのポイントについてご講演頂いた。</p> <p>近年は外来で化学療法を施行する患者が増えている。そのような患者をフォローしてい</p>		

くためには、多職種による連携や情報共有が重要であることが再認識できたセミナーであった。

【当日の会場の様子など、写真を添付ください】

